

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	老人福祉センター 倉敷市有城荘
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180 名称 社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 山崎 要
(3) 公の施設の所管部署	健康福祉部健康長寿課
(4) 評価対象期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年2月12日に実施した立入監査の結果、良好な管理運営がなされていることが確認できた。 令和2年3月に実施したアンケート調査の結果、現行の指定管理者は、利用者から好感を持って受け入れられていることが確認できた。 今年度重視して評価を行った「利用者満足度向上」については、日常的な利用者への接遇向上に取り組むとともに利用者要望のあった運動教室（ブラッシュアップ体操等）を取り入れるなど自主講座の拡充に努めており評価できる。 以上の点から、評価対象期間において、社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団は適切に指定管理業務を遂行したと判断する。 	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<p>地域の高齢者に対し各種の相談に応じるとともに、様々な講座を開講して、学ぶ意欲に応え創作を楽しむ場を提供しました。今年度は、利用者からの強い要望により、地域で活動している講師を招いた運動教室を連続講座として開講し、心身の健康維持・増進への支援をして好評を得ました。2月には恒例の有城荘まつりを開催して、講座や同好会活動等の発表の場とし、悪天候の中、300人を超える方々にご来場いただきました。令和元年度は27,076人の方々にご利用いただきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減するため、事業の中止などがあり、前年度よりも減少しました（前年度比98.</p>	

	<p>3%)。</p> <p>有城荘が実施する「さわやか講座」では、利用者の要望による「ブラッシュアップ体操」講座や「セルフ整体」講座を実施し、無理なく体を動かし鍛えることで介護を必要としないからだづくりを支援しました。また、事業団の豊富な人材を活用した講座「あたまの健康チェック！」では、認知症についての理解と早期発見を目指しました。</p> <p>「レクリエーション等の事業」では、「コーヒー教室」や「七宝焼体験」などの新規事業を行ったほか、新たに「おでかけ有城荘」として、近隣の憩の家で健康相談と簡単な手作り教室を行い、有城荘の活動をPRしました。</p> <p>「浴場開放事業」は、ゆるやかに減少が続いています。これは、有城荘の利用形態が、風呂利用も含めて毎日のように過ごす場所から、趣味や娯楽を目的に曜日や時間を限定して短時間利用する施設へと変化しているためと考えられます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響は続いており、残念ながら、有城荘の利用を勧める環境にはありませんが、健康相談等を通じて地域の高齢者の気持ちに寄り添い、老人福祉センターとして、今できる役割を果たすよう努めます。</p>
(3) アンケート結果の概要	<p>アンケート調査の結果、利用者の満足度は、施設全体は98%以上、職員対応は98%以上、施設の衛生管理は96%以上、安全対策は99%以上となった。よって、現在の指定管理者は、多くの利用者から好感を持って受け入れられていることが分かった。</p>

2 施設の利用状況

(1) 利用者数	利用者数		特記事項
	今年度	前年度	
	27,076人	27,534人	
(2) 事業の内容	<p>(1) センターの使用許可に関する事務</p> <p>(2) センターの維持管理に関する業務</p> <p>(3) 高齢者の生活, 住宅, 身上等に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(4) 高齢者の疾病の予防, 治療に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(5) 高齢者の生業および就労等の指導業務</p> <p>(6) 高齢者の後退機能の回復訓練ならびに指導業務</p> <p>(7) 高齢者の教養の向上およびレクリエーション等の事業</p> <p>(8) センターの利用者の利便性を向上させるために必要な業務</p>		

3 収支 (見込み)

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	60,199千円	
	市からの指定管理料	59,478千円	
	その他の収入	721千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	55,782千円	
	主な支出	人件費	27,483千円
		光熱水費	5,099千円
		修繕料	4,164千円
		業務委託費	3,655千円
		その他	15,381千円